

図書案内

2019年 2月号

担当 2-1 平井 2-1 宮田 2-3 森 2-4 嶋田

バレンタインに読みたい恋愛小説

2月といえば、そう！ バレンタインです！
今回はこの季節にぴったりの恋愛小説を4冊
紹介します。甘酸っぱい恋や不思議な恋など、
読書を通してさまざまな恋を楽しむことが
できます。本でしか味わえない世界をぜひお楽
みください。図書館でお待ちしています！



不思議の扉 ありえない恋

大森 望／編

異種間恋愛、時空を超えた恋愛、ある部位との恋愛など、現実ではありえない恋愛をテーマにした短編集です。

少年と少女は運命の恋に落ちた。しかし、ふたりの恋は時間という壁に隔てられていた——。場所によって時間の流れが異なる世界の切ない物語(『海を見る人』小林泰三／著)。

わたしの一生は幸福でした。
(幸福ですって?)

ごらんなさい。カムロミは永遠に私の法被を着続けてくれるんですよ。

世界の中心で、愛をさけぶ

片山 恭一／著

朔太郎とアキが出会ったのは中学2年生の時。同じ学級委員の立場で仲良くなっていき高校に入るところに2人は恋に落ちる。ファーストキスや2人きりの無人島、思春期らしい哲学的な話などが描かれていく。しかし、アキがある日発病し、2人でその病氣と闘っていくことになり……。

人を好きになること以上に、みんなの役に立つことがあるとは思えないけどな。



サクラ咲く

辻村 深月／著

この小説の作者は、2018年に『かがみの孤城』で本屋大賞を受賞しました。この小説は恋愛小説を含む3つの短編が収められています。1作80頁ほどの短い話なので、本をあまり読まない人にもおすすめです。バレンタインに破れた人もこの心温まる作品を読んで傷ついた心をいやしてみてもいいかもしれません。

私は1年5組の塚原マチです。あなたは誰ですか。

知らない相手と便せんで交流をし、2人の距離が近づいてきた時に主人公が便せんに書いた言葉です。今の時代はLINEが普及し、比較的告白しやすいけれど、便せんで告白した主人公の勇気は賞賛すべきだと思います。

葉桜の季節に君を想うということ

歌野 晶午／著

主人公の成瀬将虎は、知り合いから依頼を受けて悪質な霊感商法の調査を行っていた。そんな中、自殺を図ろうとしていた女性を助け、惹かれてはいけない、と思いつつもなぜか惹かれていく。さまざまな人物が章ごとに書かれていて、ラストですべてが繋がります。登場人物に人間味があり、なんとなく共感できるのではないのでしょうか。何度も読みたくなる、とても良い本だと思います。

好きなやつが死んじゃうと、胸がズタズタに張り裂け、その穴は1年やそこらじゃ塞がらない。それが愛した女だとなおさらだ。

バレンタインの起源とは？



2月のイベントといえばやはりバレンタインですね！ みなさんはそんなバレンタインの起源を知っていますか？ 時を遡ること3世紀頃、ローマでは戦場で国に命を捧げることを妨げないために若者の結婚が禁じられていました。しかし、愛し合う若者たちを哀れに思ったバレンタイン司祭は密かに若者を結婚させていました。それもいつしか皇帝にばれてしまい、2月14日に処刑されてしまいます。その後、バレンタイン司祭は聖人とされ、恋人の守護神としてまつられるようになり、2月14日を「聖バレンタインデー」と呼ぶようになりました。

日本では女性が好きな男性に気持ちを伝える日、チョコレートを贈る日になっていますが、これとは対照的に欧米諸国やインド、ベトナムなどでは男性から女性にプレゼントを贈ることが一般的で、お花やカード、アクセサリーが定番となっています。恋人同士だけではなく家族や親しい人との間でもプレゼントやカードを贈りあうこともあるようです。世界のさまざまなバレンタインの様子を調べてみるのも面白そうですね。

【記事出典】<https://jpn-culture.net/valentine/>

